

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2021-002
2.研究課題名	外界の遅延に対する効果的な心理的現在の拡張手法の確立
3.研究期間	令和3年5月25日～ 令和5年3月31日
4.研究の概要	<p><b>意義・目的</b>（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 身体運動とそれに遅延して呈示される感覚情報の知覚間隔について、自分で運動を実施した場合(随意運動)と、勝手に運動させられた場合(不随意運動)で比較することで、運動意図の有無による時間知覚の差異を明らかにする。 実験の参加は被験者の自由意志によるものであり、いかなる時でも実験の中断や拒否、同意撤回の権利を有すると共に、それによって一切の不利益を被ることはない。本研究では、視聴覚刺激を呈示するが、いずれも国内学会等が定める暴露基準を下回るものである。得られたデータについては、個人が特定できない形に匿名化を行う。</p> <p><b>方法</b>（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 実験は、前方に設置された時計を見ながら実施し、キー押し(運動)ないしはそれに付随して呈示される聴覚刺激の呈示時、時計の時刻はいくつであったかを回答する。実験は4条件を異なる運動(随意運動ないしは不随意運動)の2種類で実施する。 被験者は40名程度とし、視力および聴力の正常な大学生・大学院生を対象とする。 新型コロナウイルス感染症対策として、実験前、参加者の体温を測定し、37℃以上の発熱が認められた場合や、体調不良を訴えた場合には実施しない。実験後、機器をアルコールで消毒する。実験中、実験者は、マスクと防護手袋を着用する。</p> <p><b>問い合わせ・苦情等の窓口</b>（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科総合人間学専攻心理言語人間学講座 心理学研究室 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1 TEL: 022-795-6048 Fax: 022-795-3703  東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」倫理審査委員会事務局 TEL: 022-795-6103</p>